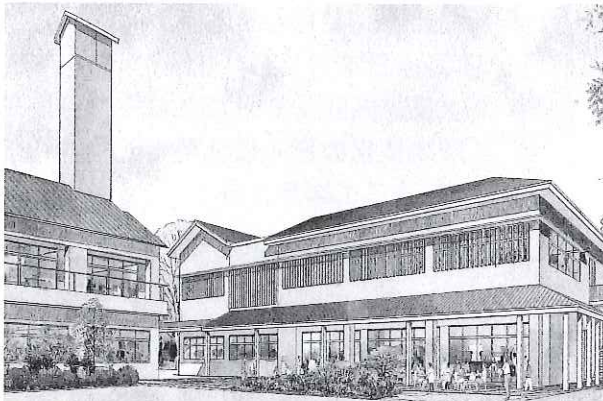


ここから発信！ 住民自治のまちづくりを

## 市内で2館目 ～島防災コミュニティセンター一起工式～



▲島防災コミュニティセンター完成予想図(中央)  
左は島小学校

島防災コミュニティセンターの新築工事の安全を祈願する起工式が、4月24日に行われました。

島防災コミュニティセンターは、地域住民が集うコミュニティ施設として、まちづくり協議会の事務局を置き、地域の特性を活かしたさまざまなまちづくり活動や事業を行う拠点として、新築整備するものです。さらに災害発生時には、防災拠点施設としてボランティアの受け入れや情報の収集および発信、学

区内の住民の避難所として島小学校の施設と連携を図ります。

防災拠点施設としてのコミュニティセンター新築整備は、金田コミュニティセンターに次いで2館目となります。今年、12月末に完成予定で、来年1月の供用開始を目指しています。

問 まちづくり支援課 ☎ (36) 5552・☎ (36) 5553



▲<sup>くわ</sup>鍬入れを行う富士谷市長

## 武佐学区まちづくり学習会 ～大学生がアンケート結果を報告～



▲アンケートを行った大阪国際大学現代社会部 田中優准教授(中央)とゼミ生たち

武佐学区まちづくり協議会と協働で武佐学区活性化活動に参画している大阪国際大学現代社会学部 田中優ゼミの学生が、昨年末に行ったアンケート調査の結果を4月27日武佐学区まちづくり学習会で発表しました。学生たちは、昨年5月から武佐学区の中山道を調査、12月にはアンケート用紙を配布し、509戸からの回答をもとに集計を行いました。

アンケートは年代別や居住年数別に回答する設問などがあり、地域に長く住んでいる人ほど住みやすいと感じていることや、まちづくりの活性化に必要なものとして回答した全ての世代がひとり暮らしの高齢者の安否確認をあげていました。学生たちは、高齢者の問題をみんなで話し合える場を設けて欲しいと話していました。

問 武佐学区まちづくり協議会 ☎・☎ (37) 6017